

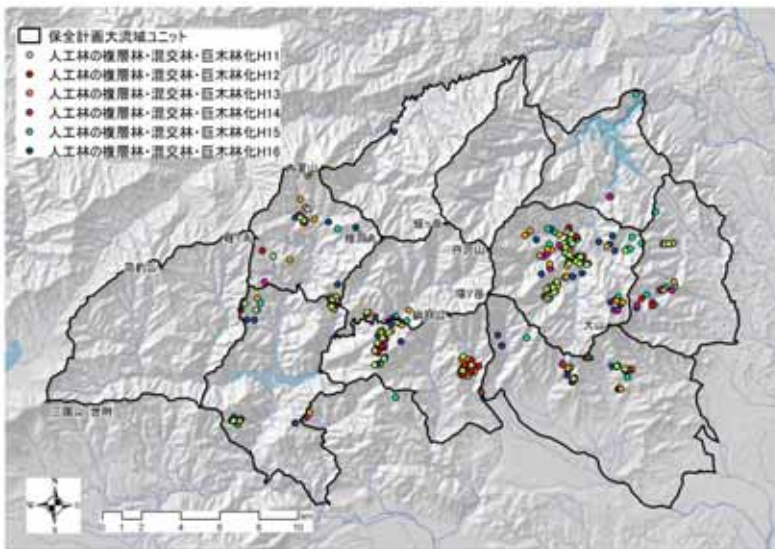
(10) 人工林成林困難地の自然植生への誘導

丹沢大山一円で水源の森林づくり事業による無立木地への広葉樹植栽、治山事業による保安林機能維持増進のための森林整備、県有林事業における人工林内の崩壊地補修等を通じ、多彩な森林づくり目指した自然植生の誘導を図っている。



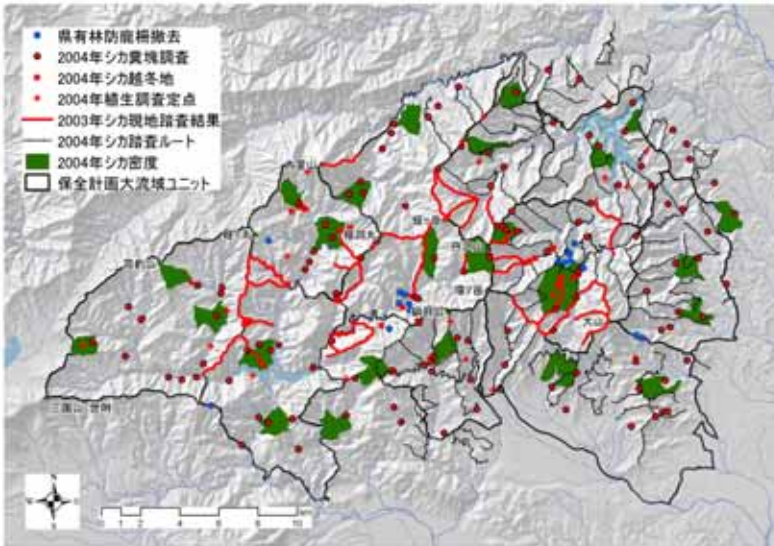
(11) 人工林の複層林・混交林・巨木林化

丹沢大山一円で、水源の森林づくり事業及び県有林事業の一環として、複層林、混交林、巨木林を目標とした人工林整備及び広葉樹林整備を実施するとともに、治山事業による保安林機能維持増進のための森林整備を通じて、水源かん養など公益的機能を重視した多様な構造を持つ森林づくりを進めている。



(12) シカ管理手法の導入の検討・実施

ニホンジカ個体群の管理を図るため、生息密度調査、生息環境調査を実施し、専門家による検討委員会を設置して、2003年に「神奈川県ニホンジカ保護管理計画」を策定し、保護管理事業に着手した。2003年度から2005年度にかけて植生回復目的の管理捕獲192頭、個体数及び生息環境のモニタリング調査を実施したほか、県有林事業の一環で生息地管理のための森林整備や不要となった防鹿柵の撤去などを実施している。



(13) 農林業被害等防止に係る個体数調整

シカによる農林業被害の軽減を図るため、1999年度から2005年度までに秦野市など8市町村で、市町村または農協が主体となって1,574頭の管理捕獲を実施している。また、2002年度から2004年度に清川村等において延長80,527mの広域獣害防止柵を設置した。

